

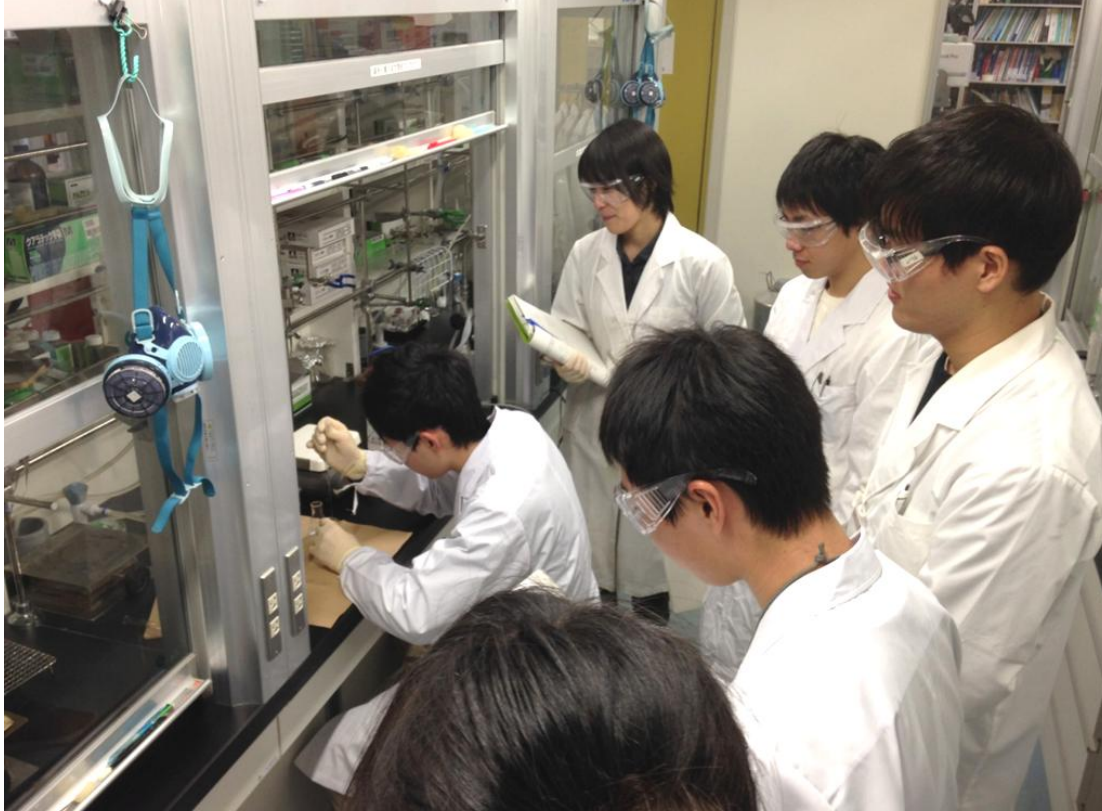
# 米沢興譲館高校SSH通信

平成27年12月24日(木)～26日(土)、全国の高校生同士が交流しながら世界最先端の研究「有機の光」を実際に体験できる機会を創出し、科学技術や研究への興味・関心を喚起させ、サイエンスキャリア形成を図ることを目的とした「ウィンター・サイエンス・キャンピング米沢」を実施した。山形大学有機エレクトロニクス(ELE)研究センターと連携し、北は青森県から南は岡山県と、有機EL研究に高い興味・関心を持つ全国の高校生が米沢の地で一堂に会する取り組みとなった。

参加者は次世代薄型ディスプレイや照明光源として注目されている有機EL素子を実際に作製し、電気を流して光らせる等、先端的な科学技術を体験的に学んだ。これらを通して、「自分達で作った有機ELが光った時は感動した」等、全国の科学好きな仲間達との交流を深めながら科学する心を育むことができた。



## Winter Science Camp in yonezawa 2015



「夢を目指す」

本校1年参加男子生徒(米沢四中出身)

私は、ウィンターサイエンスキャンプへの参加が決定したとき、はじめは大変驚きました。また、自分が難しい内容を理解しているのか不安も多かったです。しかし、ノーベル賞受賞が期待され、世界の最先端をいこうといわれている城戸先生の研究に少しでも触れることができるこの機会を、次第に大変ありがたく思うようになりました。

今回の体験では、有機ELの素子をつくり、それを評価するという実験を行いました。私たちはこの実験を行う前に実験の概要と方法の説明を受けました。しかし、内容はやはり難しく、残念ながらほとんど理解することができませんでした。それでも、実験のときに山工大学の学生さんが丁寧に教えてくれたり、参加者全員で協力したりしながら、最後までやり遂げることができました。工学部への進学を目指す自分にとって、今回の体験はとても意味のあるものでした。将来、自分も偉大な研究を成し遂げてみたいと思っています。

### Winter Science Camp in yonezawa 2015

参加者募集  
募集人数 **12名**  
応募締切 **10月28日(水)**  
※郵送にて必着

高校生のための先進的科学技术体験合宿プログラム  
「有機の光で照らしてみよう～有機ELを作る～」  
有機材料を用いて電子デバイスを作製する「有機エレクトロニクスデバイス」は、薄い・軽い・折り曲げられる・印刷で安価に大量生産できるなど、新しい半導体技術として期待されています。その代表格である有機EL素子は、蛍光性の有機化合物を電気で光らせる装置です。有機EL素子は、厚さが1mm以下と極めて薄く、高効率で発光する環境に優しい面状の発光デバイスで、次世代の薄型テレビや照明器材への応用が注目されています。今回のキャンプでは、蛍光性の有機化合物をプラスチックなどを使って合成し、合成した蛍光材料を使って有機EL素子を作製します。作製した素子に電気を流し光らせ、その明るさや発光効率などを測定して蛍光灯などの光源と比較します。またディスプレイなど実際の応用製品を見ることにより有機ELの応用について考えます。

2015.12.24.THU-26.SAT

開催場所 山形大学 有機エレクトロニクス研究センター  
〒992-8510 山形県米沢市城南4-3-16  
宿泊場所 ホテル ベネックス米沢(集合場所)  
〒992-0039 山形県米沢市門東町3丁目2-16 TEL.0238-23-1811



次世代ディスプレイ、照明として期待される有機ELの発光材料とそれを使ったデバイスを大学院の先輩と一緒に作る実験メニュー満載のプログラムです。  
山形大学大学院理工学研究科 城戸 淳二 教授  
・2013年 紫綬褒章 受賞  
・2015年 KF ブラウン賞 受賞



2015/12/26

# 046 山形県立米沢興譲館高等学校SSH事務局

URL <http://www.yonezawakojokan-h.ed.jp/> Email [yonekojo@pref-yamagata.ed.jp](mailto:yonekojo@pref-yamagata.ed.jp)  
〒992-1443 山形県米沢市大字笹野1101番地 Tel.0238-38-4741 (代表)

